



暑かった夏も終わり、道端にはコスモスが咲き始めています。9月定例会市議会は、阪神野外CSR施設の整備費などを盛り込んだ本年度一般会計補正予算と、北雲雀丘地区の土地買収、議員の政務調査費の支出報告の際に領収書の添付を義務づける条例改正など38件の議案を可決して終了しました。今回の議会からFM宝塚で一般質問が放送されることになりましたので、ぜひ聴いてみてください。

(私の質問は10月25日13時~の予定です)



8/31 07年度予算要望書を阪上市長に提出しました

活動報告~抜粋~

7月

- 8日 民主党兵庫県連常任幹事会
- 9日 第4回「出前議会」
- 12日 市町教育予算学習会(神戸)
- 19~21日 全国都市問題会議(札幌)
- 24日 環境審議会
- 28日 阪神政策研究会(伊丹)
- 31~2日 総務常任委員会行政視察
(秋田・盛岡・東京)

8月

- 2~3日 国会視察(東京)
両性の自立と平等をめざす教育研究会
- 5日 民主党兵庫県連常任委員会
水岡俊一参議院議員国会活動報告会
- 7日 日教組近畿ブロック交流学習会
- 15日 反戦平和のつどい
- 24日 子育て・少子化対策調査特別委員会
- 25日 富士通明石工場PC研修
- 29日 総務常任委員会
- 31日 予防接種健康被害調査委員会

9月

- 2日 民主党兵庫県連常任幹事会
豊かな教育の創造をめざす兵庫県民会議
- 5~20日 9月定例会市議会
- 9日 連合北阪神決起集会(川西)
- 10日 第5回「駅前議会」
- 11日 民主党第6区常任幹事会(伊丹)
- 23日 国際人権法政策研究所・兵庫研究会
- 24日 神戸学セミナー
- 29日 平和教育実践交流集会(相生)



8/2 国会視察

◆定例監査&監査委員会議◆

監査委員として、定例監査及び住民監査請求審査を行っています。

- 7月 5・25・26日
- 8月 4・8
22・23・28日
- 9月 4・12
13・14・15日

9月定例市議会報告 北野さと子の一般質問及び答弁～抜粋～

1. 教育環境整備について

子ども支援サポーターや介助員を初め、さまざまな子どものニーズにこたえる支援体制の現状と課題は？

教職員は最大の教育環境。技量とモチベーションをあげることが重要。

評価というのは入試のためにあるのか？

教育長答弁
心理相談員...18人の児童に対して8名
別室登校指導員...小学校1校・中学校9校に対して4名
支援ボランティア...12小中学校に21名
障害児学級介助員...29名
日本語サポーター...27人の児童生徒に対して20名
生徒指導推進協力員・自立支援活動補助員・スクールカウンセラー
・今後とも、人的な子ども支援施策の充実に力を注いでいきたい。
教育資料や教材研究の場を整え教師力を高める支援したい。
授業の結果として評価というものがある。授業づくりが結果的に評価につながっていく。

2. 子どもの食物アレルギーについて

食物アレルギー対応は重要であり、学校全体での受け入れ態勢の整備が急務ではないか。

アナフィラキシーショックに対して市立病院等医療機関と教育委員会・学校とが連携をとれないか。

教育長答弁
統一的な基準や継続的な研究検討組織づくりが課題と考えている。
専門的なアドバイザーとして、市立病院などの医師等専門家の意見を伺うことや、先進都市の取り組み事例などを参考に、早急に統一的対応が可能な対策につなげていきたいと考えている。

3. メディアリテラシー教育について

携帯電話の便利さと多機能がゆえに、子どもが犯罪に巻き込まれる恐れがある。その予防と対処について市教委の取り組みは？

GPS携帯端末で子どもたちの安全を守る取り組みなど、携帯電話の有効活用についてどう考えているか。

携帯電話・インターネットの危険性について家庭・地域・学校がいっしょに学習や意見交換ができる場を作っては？

教育長答弁
チェーンメールを題材にしたメールトラブル対処法に関する公開授業を行ったという事例がある。
・出会い系メールやワン切りなどの携帯メールに対応する研修教材を各校に配布。
・中学1年生全員と保護者向けに「青少年携帯・インターネット利用を考えよう」の啓発リーフレットを配布した。
学校における安全を守るための道具としての携帯電話の利用方法について研究する必要性を感じている。
学校教育部長答弁
必要性を十分認識している。今後、検討していく。

4. 社会教育について

宝塚市における社会教育の位置づけは？公民館の社会教育機関としての責任は？

「宝塚大事典」の活用は？

「宝塚検定」を実施してはどうか

生涯学習の中身をしっかりとらえていくためには、共生の学習を基本にしなければならないと思う。その点について見解は？

教育長答弁

市民ニーズに即したIT社会への対応や、環境・人権・平和といった必要課題へ対応するカリキュラムを構築し、市民への情報提供に努めるとともに、社会教育の大きな目的の一つである学びを社会に還元するシステムづくりの充実に取り組んでいきたい。

市立小・中・養護学校に各1冊配布。教育総合センターに40冊常備。作成で入手した資料を図書館に展示したりしてPRに努めている。

観光的側面だけでなく、地域への愛着や地域の持つ自然や歴史・文化などのすばらしさを多くの方に知っていただくという観点で大変有効な手段であると考えている。

社会教育部長答弁

人は一人で生きているのではなく、人と人の関係において、また自然の中で互いに影響を受けながら生きている、という意識を持つことが重要である。社会でいかにもに生きていくか、いわゆる共生していくことが重要である。このことは、まさに社会教育がめざしている目的である。

5. 阪神福祉事業団について

「ななくさ学園」は設備が老朽化し、さらに卒業後の受け入れ先のない18歳以上の人々が24名もいたり、家庭崩壊や養育困難で入所するケースが増えていたり、大変厳しい環境にある。財政的・人的にも難しい「ななくさ学園」の現状を設置責任者の一員である宝塚市はどう考えているのか。

事業団障害福祉事業の新しい構想について「新将来検討委員会」が出した答申を宝塚市はどう受け止めどうしようと考えているのか

教育長答弁

建物、設備の老朽化も進み、きょうあいな生活空間や多人数部屋など、利用者の生活の場としては大きな課題がある状況となってきているのが現状。

重度障害児の福祉施設の必要性は十分認識しているところであり、施設機能として求められているものや、施設のあり方なども含めて広域連携の中で早期整備に向け取り組んでいきたい。

4/24 「ななくさ学園」視察



質問風景

活動トピックス

7/20 全国都市問題会議（札幌）
「都市の連携と交流～まちのちからの活用～」
のテーマで、札幌・新潟・富山市長、安藤忠雄氏、旭山動物園長などの講演を聴き研修してきました。



7/28 阪神政策研究会（伊丹）
今回は、エアフロントオアシス下河原と中村地区集団移転について、及び伊丹スカイパーク視察を行いました。

9/10 第5回「駅前議会」（宝塚ホテル）



9月議会の議案を4つ選んで、それについて市民のみなさんとともに考えるユニークな「模擬議会」形式でおこないました。会場の市民議員からたくさんの発言がでて活発な意見交流ができました。これからもこのような市民参画の取り組みを進めていきます。

～風のココロ～

この夏、市内の高齢者の方々とお話しする機会がありました。所得税・住民税の老年者控除、非課税限度額の廃止などが重なり合って、急激な負担増となったとのこと。また、十分な介護・医療が受けられないのではないかと不安も広がっています。あまりに高齢者や弱者に対してひどい仕打ちです。

小泉構造改革を受け継いだ安倍政権に、果たしてこの「悲鳴」は届くのでしょうか。

次回 第6回「駅前議会」

日時：12月3日（日） 午後1時～

場所：宝塚ホテル

発行人 北野さと子

連絡先

〒665-0034 宝塚市小林2丁目12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>